

JILPT 調査シリーズ

No.176

2017年 11月

**「イノベーションへの対応状況調査」(企業調査)  
結果及び「イノベーションへの対応に向けた働き方の  
あり方等に関する調査」(労働者調査) 結果**

The Japan Institute  
for  
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



「イノベーションへの対応状況調査」(企業調査) 結果及び  
「イノベーションへの対応に向けた働き方のあり方等に  
関する調査」(労働者調査) 結果



## まえがき

人口減少による供給制約下にある我が国において、経済成長していくためには、一人ひとりが生み出す付加価値（労働生産性）を高めていくことが重要である。これに最も寄与すると考えられているのはイノベーションを促進し、事業活動に生かすことである。このため、今後のイノベーションで中心となるAI（人工知能）やICT（情報通信技術）に注目して、企業・労働者がどのようにこれらの技術に対応していくべきかを明らかにしていくため、企業・労働者アンケート調査を行った。

本調査に回答いただいた企業・労働者の方々にはこの場を借りて改めて感謝申し上げたい。本報告書が、企業のイノベーションの促進と労働生産性の向上を検討するうえで、役立つとともに、今後のイノベーション対応に関わる法政策に関する議論に資することができれば幸いである。

2017年11月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
理事長 菅野 和夫

## 調査担当者

氏名	所属
おぎの のぼる 荻野 登	労働政策研究・研修機構 労働政策研究所副所長
あらい えいぞう 新井 栄三	労働政策研究・研修機構 調査部 主任調査員
おくだ えいじ 奥田 栄二	労働政策研究・研修機構 調査部 主任調査員補佐

## 目 次

第 I 部 調査結果の概要 .....	1
第 1 章 調査の概要 .....	3
第 2 章 企業調査の結果概要 .....	5
1. 回答企業の属性 .....	5
2. テレワーク .....	6
2-1. テレワークの実施状況 .....	6
(1) テレワークの実施状況 .....	6
(2) テレワークの種類 .....	7
(3) テレワークの実施部門 .....	8
(4) テレワークの実施者 .....	9
(5) テレワークを実施中の従業員に対する就業時間・就業場所の管理方法 .....	10
2-2. テレワークを実施した理由と効果 .....	12
(1) テレワークを実施した理由と効果 .....	12
(2) テレワークの種類別にみたテレワークを実施した理由と効果 .....	14
(3) 今後のテレワークに対する拡充方針 .....	15
2-3. テレワークを実施する上での問題や課題 .....	15
(1) テレワークを実施する上での問題や課題 .....	15
(2) テレワークの種類別にみたテレワークを実施する上での問題や課題 .....	17
3. テレビ会議 .....	18
3-1. テレビ会議の導入状況 .....	18
(1) テレビ会議の導入状況 .....	18
(2) テレビ会議の実施用途 .....	19
3-2. テレビ会議を導入した理由と実施効果 .....	20
(1) テレビ会議を導入した理由と実施効果 .....	20
(2) 今後のテレビ会議の拡充方針 .....	22
4. AI（人工知能） .....	22
4-1. AIの職場への導入状況 .....	22
4-2. 現時点で導入予定がない企業のAI導入の意向 .....	23
4-3. AIの導入に際して、準備していること .....	24
4-4. AI導入・導入検討中企業の状況 .....	26
(1) AIの役割・機能 .....	26

(2) AI導入の影響に対する認識	27
4-5. 今後、AIが導入された場合の従業員数の変化	28
(1) 今後、AIが導入された場合の従業員数の増減	28
(2) 今後、AIが導入された場合の正社員（職種）の増減	29
4-6. 職場にAIが導入される時期のイメージ	31
4-7. AIの活用が一般化する時代に求める能力、スキル	32
(1) AIの活用が一般化する時代に従業員に求める能力	32
(2) AIの活用のスキルのうち、今後、求めるスキル	34
5. 副業	35
5-1. 副業の許可状況	35
5-2. 副業の禁止理由	36
5-3. 副業の推進容認企業の状況	37
(1) 従業員の副業申請の扱い	37
(2) 副業の推進・容認理由	38
5-4. 今後の従業員の副業の推進方針	39
<b>第3章 労働者調査の結果概要</b>	<b>41</b>
1. 労働者調査の回答者の属性	41
(1) 労働者調査の回答者の属性	41
(2) 柔軟な働き方への希望	42
2. テレワーク	43
2-1. テレワークにかかわる回答者属性	43
2-2. 過去3年間にテレワークを適用された者の状況	44
(1) テレワークの適用理由	44
(2) テレワークの勤務中の連絡・報告体制	45
(3) テレワークの満足度	46
(4) テレワークで働くに当たって感じている課題	46
2-3. 過去3年間でテレワークの適用が「ない」者のテレワークの就労希望	47
3. テレビ会議	49
3-1. テレビ会議にかかわる回答者の属性	49
3-2. テレビ会議の利用の状況	51
(1) テレビ会議の実施用途と参加して感じたこと	51
(2) 今後のテレビ会議の拡充希望	52
3-3. テレビ会議未導入企業におけるテレビ会議の導入希望	54
4. AI（人工知能）	55

4-1. AI（人工知能）に対する知識・イメージ	55
4-2. 職場に導入（検討）されているAIに対する認識	57
(1)職場でのAI導入状況	57
(2)職場に導入（検討）されているAIの役割・機能	59
4-3. AIの知識・スキルを習得するための対応・準備	59
(1)AIの知識・スキルを習得するための対応・準備	59
(2)AIの知識・スキルを習得するための対応・準備の内容	61
4-4. AIが職場に導入された場合の影響に対する認識	62
(1)AIが職場に導入された場合の影響に対する認識	62
(2)個人属性別にみたAIが職場に導入された場合の影響に対する認識	63
4-5. AIによる業務の代替に対する認識	65
(1)AIによる業務の代替可能性	65
(2)仕事がAIに代替された場合の業務内容に対する認識	67
(3)個人属性別にみた仕事がAIに代替された場合の業務内容に対する認識	68
(4)AIに代替された場合の業務、雇用に対する認識	70
4-6. AIの影響に対する認識	71
(1)AIの業務に対する影響	71
(2)AIが導入された場合の従業員数の変化	74
(3)AIが職場に導入された場合の雇用不安感	75
4-7. 自社の職場へのAI導入意向	78
(1)自社の職場へのAI導入意向	78
(2)個人属性別にみた自社の職場へのAI導入意向	79
4-8. 職場にAIが導入される時期のイメージ	81
4-9. AIの活用が一般化する時代に求められる能力、スキル、支援制度	83
(1)AIの活用が一般化する時代に求められる能力	83
(2)AIが上司・同僚・部下の場合の抵抗感	84
(3)AIの活用のスキルのうち、今後、取得したいスキル	86
(4)AI活用のスキルを取得するために必要な学習環境や支援制度	87
5. 副業	89
5-1. 副業にかかわる回答者属性	89
(1)副業の有無の属性	89
(2)副業をしていない者の副業の意向	89
(3)企業の副業に対する方針からみた副業の有無	91
5-2. 副業の状況	91
(1)副業の就業形態	91

(2) 副業での情報通信技術（ICT）の使用	92
(3) 副業と本業の仕事内容の異同	93
(4) 本業の仕事に対する副業の役立ち度	94
(5) 勤務先（本業）への副業の通知状況	95
5-3. 副業をする（したい）理由	96
6. 自己啓発	98
6-1. 自己啓発の実施の有無	98
6-2. 自己啓発の状況	100
(1) 自己啓発の目的	100
(2) 自己啓発の実施内容	100
6-3. 自己啓発を行う上での課題	101
<b>第4章 企業調査と労働者調査の比較</b>	<b>103</b>
1. 企業調査と労働者調査の比較	103
2. テレワーク	103
2-1. テレワークの実施状況（企業調査）	103
2-2. テレワーク実施部門（企業調査）	104
2-3. テレワークの実施者（企業調査）	105
2-4. テレワークを実施中の従業員に対する就業時間などの管理方法（企業調査）	105
2-5. テレワークを実施した理由と効果（企業調査）	106
2-6. テレワークを実施する上での問題や課題（企業調査）	108
2-7. 過去3年間にテレワークを適用された者の回答者属性（労働者調査）	109
2-8. 過去3年間にテレワークを適用された者の状況（労働者調査）	109
2-9. テレワークの満足度（労働者調査）	110
2-10. テレワークで働くに当たって感じている課題（労働者調査）	111
3. テレビ会議	111
3-1. テレビ会議の導入状況（企業調査）	111
3-2. テレビ会議の参加状況（労働者調査）	112
3-3. テレビ会議の実施用途（企業調査・労働者調査）	113
3-4. 企業からみたテレビ会議を導入した理由と実施効果（企業調査）	113
3-5. テレビ会議に参加して感じたこと（労働者調査）	114
3-6. 企業からみたテレビ会議の拡充方針（企業調査）	115
3-7. 労働者からみたテレビ会議の拡充希望（労働者調査）	116
4. AI（人工知能）	116
4-1. AIの職場への導入状況（企業調査）	116

4-2. AIの導入に際して、準備していること（企業調査）	117
4-3. 職場でのAI導入状況（労働者調査）	118
4-4. AIの知識・スキルを習得するための対応・準備	119
(1)AIの知識・スキルを習得するための対応・準備（労働者調査）	119
(2)AIの知識・スキルを習得するための対応・準備の内容（労働者調査）	119
4-5. 職場に導入（検討）されているAIの役割・機能（企業調査・労働者調査）	120
4-6. AI導入による業務への影響に対する認識（企業調査・労働者調査）	121
4-7. 今後、AIが導入された場合の従業員数の変化（企業調査）	122
4-8. AIによる業務の代替に対する認識	124
(1)AIによる業務の代替に対する認識（労働者調査）	124
(2)仕事がAIに代替された場合の業務内容に対する認識（労働者調査）	125
4-9. 自社の職場へのAI導入意向（労働者調査）	127
4-10. AIが職場に導入された場合の雇用不安感（労働者調査）	127
4-11. 職場にAIが導入される時期のイメージ（企業調査・労働者調査）	129
4-12. AIの活用が一般化する時代に求められる能力、スキル	130
(1)AIの活用が一般化する時代での求められる能力（企業調査・労働者調査）	130
(2)AIの活用が一般化する時代において求めるスキル（企業調査・労働者調査）	131
5. 副業	132
5-1. 副業の許可状況（企業調査）	132
5-2. 企業の副業の推進・容認の状況	133
(1)従業員の副業申請の扱い（企業調査）	133
(2)副業の推進・容認理由（企業調査）	133
5-3. 副業の禁止理由（企業調査）	134
5-4. 今後の従業員の副業の推進方針（企業調査）	134
5-5. 労働者の副業の状況	135
(1)副業の状況（労働者調査）	135
(2)副業の就業形態（労働者調査）	136
(3)副業での情報通信技術（ICT）の使用（労働者調査）	137
(4)副業と本業の仕事内容の異同（労働者調査）	137
(5)本業の仕事に対する副業の役立ち度（労働者調査）	138
(6)勤務先（本業）への副業の通知状況（労働者調査）	138
5-6. 副業をする（したい）理由（労働者調査）	139

<b>第Ⅱ部 資料</b> .....	<b>141</b>
<b>資料1 調査票</b> .....	<b>143</b>
「イノベーションへの対応状況調査」（企業調査票） .....	145
「イノベーションへの対応に向けた働き方のあり方等に関する調査」 （労働者調査票） .....	153
<b>資料2 付属統計表</b> .....	<b>161</b>
「イノベーションへの対応状況調査」【企業調査】付属統計表 .....	163
「イノベーションへの対応に向けた働き方のあり方等に関する調査」 【労働者調査】（企業属性）付属統計表 .....	221
「イノベーションへの対応に向けた働き方のあり方等に関する調査」 【労働者調査】（個人属性）付属統計表 .....	301